

利用マニュアル





kintoneへのインストール手順



kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加/削除する(システム管理)

プラグインインストール、アプリテンプレート読み込み

お手元に、メールでお送りしたプラグインおよびテンプレートのファイルをご準備ください。

1. kintoneにプラグインをインストールする

<u>3ページ</u>の手順を参考に、「自動採番プラグイン」をファイル から読み込んでインストールします。

- 参考) kintoneヘルプ(<u>https://jp.cybozu.help/k/ja/</u>) kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグ インを追加/削除する(システム管理)
- 2. アプリテンプレートを読み込む

下記URLを参考に、 自動採番管理アプリテンプレートを読 み込みます。

参考) kintoneヘルプ(<u>https://jp.cybozu.help/k/ja/</u>) kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > アプリの管理 > アプリ テンプレートの管理 > アプリテンプレートファイルを kintoneに登録する





アプリ作成、APIトークン取得

1. 自動採番管理アプリの作成

下記URLを参考に、 自動採番管理アプリテンプレートからアプリを作成します。

参考) kintoneヘルプ<u>https://jp.cybozu.help/k/ja/</u>) kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの作成と削除 > 登録済みのテンプレートからア プリを作成する

2. 自動採番管理アプリでAPIトークンを生成

下記をご参照の上、閲覧/追加/編集権限のあるAPIトークンを生成してください。

kintoneユーザーヘルプ APIトークンを生成する 参考)kintoneヘルプ(<u>https://jp.cybozu.help/k/ja/</u>) kintone ヘルプ > ユーザーヘルプ > アプリの設定 > APIトークンを生成する

アプリへの設定手順



プロダクトキー設定方法

プロダクトキーは保存時に自動生成されます。

プラグインを複数アプリに適用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けて保存してください。



※初回設定時にプロダクトキーが表示されますので、忘れないよう保管してください。プロダクトキーが わからなくなってしまった場合は、サポートへお問い合わせいただきドメインをお知らせください。

プラグイン設定①

自動採番を使用するアプリに自動採番プラグインを追加して設定を行います。

1. 自動採番管理アプリIDと自動採番管理アプリAPIトークンの設定

作成した自動採番管理アプリのアプリIDとAPIトークンを設定します。

2. 採番タイミングの設定

以下の4つの選択肢の中から選択します レコード追加画面保存時 採番ボタンクリック時

- レコード追加画面表示時
- レコード保存成功時

①レコード追加画面表示時

- ・追加画面が表示されるタイミングで採番します
- ・レコードの追加をキャンセルした場合、その番号は欠番と なります
- ・フォーマットは[指定先頭文字(固定値、未設定も可)+通番]のみ

目動採番の最終番号を管理し	っているアプリのIDを入力してください。
42	
自動採番管理アプリAPI	トークン*
自動採番の最終番号を管理し	っているアプリのAPIトークンを入力してください。
qTW4qtci3HEz7moegEg\	W9jM9SfwhdMtQBtCvngeq
採番タイミング	
自動採番するタイミングを達	銀んしてください。
採番ボタンクリック時 🗸	
梁番ボタンを利用する場合は 指定しない場合はページ最上	- 、採番ボタンの配置先スペース要素IDを指定して下さい。 :部に配置します。
ааа	
指定桁数	
自動採番の際の桁数を入力し 指定しない場合はゼロ埋めを	てください。 行いません。
5	

プラグイン設定②

②採番ボタンクリック時

- ・追加/編集画面に表示された採番実行ボタンをクリックしたタイミングで採番します
- ・番号取得後、レコードの追加・保存をキャンセルした場合、その番号は欠番となります
- ・フォーマットは「自動採番パラメータ」「自動採番フォーマット」で指定します

採番ボタンクリック時を選択した場合、フォーム上の任意の場所にスペースを配置し、その要素IDを設定画面で指定することで、その場所にボタンを表示することができます。

③レコード追加画面保存時

- ・追加画面で保存ボタンを押したタイミングで採番します
- ・レコードの追加キャンセル時、番号は欠番になりません
- ・フォーマットは「自動採番パラメータ」「自動採番フォーマット」で指定します
- ・レコード追加時に、必須項目の未入力などでエラーが発生した場合、欠番が発生します。

④レコード保存成功時

- ・レコードの保存に成功したタイミングで採番します
- ・レコードの保存エラー時、番号は欠番になりません
- ・フォーマットは「自動採番パラメータ」「自動採番フォーマット」で指定します

プラグイン設定③

3. 指定桁数の設定

通番部分の左ゼロ埋めした全体の桁数を指定します。 0または空欄にした場合、ゼロ埋めなしの数値のみ表示されます。

4. 指定先頭文字の設定

通番部分の直前に表示される文字列(二文字以上でも可)を指定します。 自動採番フォーマットで{先頭文字}パラメータとして採番結果の任意の場所に配置できます。

指定桁数	
自動採番の際の桁数 指定しない場合はゼロ	を入力してください コ埋めを行いません
5	
指定先頭文字	
自動採番の際の先頭	文字を入力してくた
J	

プラグイン設定④

5. 自動採番パラメータ1~3の設定

採番の基準となるパラメータを最大3つ指定できます。

- ・パラメータ項目
 - パラメータ値となるフォーム項目を指定します。

指定可能な項目の種類は以下のとおりです。

文字列(1行)、数値、計算、ドロップダウン、ラジオボタン、

日付、日時、作成日時、更新日時

- なお、パラメータ項目は採番タイミングが「レコード追加画面表示時」の 場合、使用できません。
- ・日付要素

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。

日付の年/月/日のどの値をパラメータとして表示するかを選択できます。

・年度開始月

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。 年度の開始する月を1~12から選択できます。

・日付桁数

パラメータ項目で日付関連項目を選択した場合に指定します。

日付要素(年/月/日)の表示桁数を2または4のいずれかから選択できます。

自動採番パラメータ1		
パラメータ項目		
受付日時	\sim	
日付要素		
年	\sim	
年度開始月		
4	\sim	
日付桁数		
4	\sim	

プラグイン設定5

6. 自動採番フォーマットの設定

採番結果のフォーマットを以下のパラメータと区切り文字の 組み合わせで指定します。

- ・{先頭文字}
- ・{パラメータ1}
- ・{パラメータ2}
- ・{パラメータ3}
- ・{通番}
- 7. 自動採番先フィールドの設定

自動採番結果を設定する先の項目を指定します。

8. 採番可能数超過時オプションの設定

指定桁数に1以上の値を指定した場合に、採番結果が桁あふれを 起こした場合の処理方法を以下の選択肢から指定します。

・通番を1に戻す(既定値)

・エラーで中断

自動採番フォーマット*

自動採番のフォーマットを指定して下さい。パラメータとして以下の文字列が使用できます。 {先頭文字} {パラメータ1} {パラメータ2} {パラメータ3} {通番} ※設定例:{先頭文字}-{パラメータ1}-{パラメータ2}-{パラメータ3}-{通番} {パラメータ1}-{パラメータ2}-{過番}

自動採番先フィールド*				
自動採番先のフィールドを選択してください。				
識別番号 (自動採番) 🛛 🗸				
採番可能数超過時オプション [*]				
採番可能数超過時オプション* 採番可能数超過時の処理方法を選択して下さい。				

トライアル期限や、契約期日を超過してご利用の場合、アプリの一覧画面で下記ダイアログが表示されアプリを利用することができません。

その場合、アプリからプラグインを削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。





- ・ゲストスペースで利用する場合、自動採番を使用するアプリと自動採番管理アプリの両方をゲストスペ
- ースに配置してください。片方だけがゲストスペースにある場合には対応していません。
- ・モバイル端末に対応しています。
- ・セキュアアクセスに対応しています。
- ・SAML認証に対応しています。
- ・Basic認証に対応しています。
- ・LGWAN環境に対応しています。
- ・「moconavi」のセキュアブラウザ「mocochro(モコクロ)」に対応しています。

プラン別機能比較表

	無償版	トライアル版	有償版(年間契約)
自動採番する 項目のパラメータ数	3個まで	6個まで ※1	6個まで ※1
利用ユーザー数	50ユーザー	無制限	無制限
設定アプリ数	10個まで	1000個※2	1000個※2
利用期間	無期限	15日間	1年間
費用	なし	なし	あり
製品サポート	なし	あり	あり

※1 v1.0.6以前のバージョンは3個まで※2 kintoneのアプリ条件に準ずる

プラグインを利用するアプリが上限を超過した場合(無償版)

プラグインを利用するアプリ数が上限を超過した場合

プラグインを利用しているアプリが上限の10個を超えた場合、 プロダクトキーを入力し、 [プラグインの設定] を保存しようとすると、以下のポップアップメッセージが表示されます。



- 1. P.3の手順①~③ を参照に、プラグイン画面を開き[読み込んだプラグイン]の表から [利用中のアプリ] を確認し、プラグインを削除してよいアプリを確認します。
- 2. 対象のアプリ名をクリックし、P.6の手順③ を参照に [プラグイン] 画面を開き、対象プラグイン行の右端の 😣 をクリックします。「このプラグインの利用を解除しますか」と確認メッセージがでたら、[利用を解除] をクリックします。
- 右図のポップアップが表示されるので、
 「アプリの設定」→「アプリの更新」をクリックします。

プラグインの利用が解除されました。 変更を反映するには、<mark>アプリの設定に</mark>戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。